

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

溢れるほどの情熱をもって、革新しつづける

連結売上高
350億円以上営業利益率
4.5%以上ROE
7.0%以上GHG排出量削減
30%以上

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の収益力強化

事業ポートフォリオの大胆な見直し、M&Aも選択肢としつつ、半導体関連マスク事業への積極投資を実施

2. 成長事業の育成

グローバルパッケージ事業に約13億円投資、タイ拠点設立。ロジスティクス・システム関連事業を成長事業として位置づけ

3. 株主還元強化

安定配当継続しつつ下限設定。2024年度30円→2026年度37円へ通増。自己株式取得も検討

4. 気候変動対策

2050年度カーボンニュートラル目指し、2030年度までにGHG排出量を30%削減

③ 対処すべき課題

① 印刷市場の構造的縮小

- デジタル化による紙媒体縮小。1991年の8兆9,287億円から2022年5兆462億円へ減少
- ペーパーレス進展と少子高齢化による内需縮小で厳しい事業環境継続
- DX拡大と用紙値上げが広告宣伝媒体のデジタル化をさらに加速

② 原材料・人件費の高騰対応

- 原材料価格上昇と賃上げによる人件費高騰が全事業に共通課題
- 販売価格への転嫁、生産性向上、経費削減による対応が必須

③ 半導体市場の回復停滞

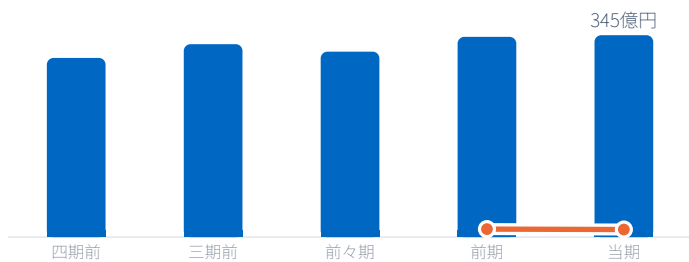
- 世界半導体市場で回復の兆し見受けられるも本格回復に至っていない
- 中国経済低迷、世界的なEV市場失速が影響

面接で使えるポイント

- 創業100周年となる2024年1月を契機に、ホールディングス体制へ移行し『第二の創業年』として攻めの経営へ転換
- グローバルパッケージ事業にタイで約13億円投資し、東アジア～東南アジアで事業展開を加速
- 2030年度までにGHG排出量を2020年度比30%削減し、2050年度カーボンニュートラルを実現へ

証券コード 7875

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
345億円営業利益率
3.8%財務健康度
46点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 44.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
542万円

その他製品内 67位/105社

平均年齢
43.1歳

その他製品内 42位/105社

平均勤続
15.4年

その他製品内 40位/105社

女性管理職
11.1%

その他製品内 32位/83社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 竹田 i P ホールディングス[7875] : 2026年 3月期 決算

